

令和7年度第1回蓮田市上下水道事業審議会会議録

日時 令和7年7月25日（金）

午前10時00分～

会場 蓮田市浄水場

管理棟新館2階会議室

〈出席委員〉 采澤修八会長、秋山敦副会長、大澤正見委員、菊池義人委員
黒田みどり委員、小林由美子委員、鈴木貴美子委員、高橋智委員、
爪川京子委員、富江寛二委員、中野拓治委員、山崎正平委員

〈事務局〉 山口市長、中田上下水道部長、原田水道課長、
岡田下水道課長、山岸水道課主幹、萩原水道課副主幹、
末廣下水道課副主幹、武下水道課主査、渋谷下水道課主事

〈傍聴者〉 なし

- | | | |
|---|-------------------|----------|
| 1 | 開 会 | 岡田下水道課長 |
| 2 | 市長あいさつ | 山口市長 |
| 3 | 委嘱式 | |
| 4 | 会長・副会長選出 | |
| 5 | 議 事 | |
| | (1) 蓮田市水道ビジョンについて | 山岸水道課主幹 |
| | (2) 下水道事業に関する勉強会 | 中田上下水道部長 |
| 6 | 連絡事項 | 岡田下水道課長 |
| 7 | 閉 会 | 岡田下水道課長 |
| 8 | 閉 会 | |

議事（2）についての主な質疑応答

委員：下水道事業が独立採算の原則だけでは、経営上難しいこともあると思うが、各市町村それぞれで事業形態が異なり、過去の事業の経緯も重要だと思うが、いかがか。

事務局：下水道事業が公営企業化されたのは最近というのもあり、下水道が整備された段階では経営的な考え方が導入されていなかった背景がございます。しかしながら下水道が使えない区域の方からの一般会計の税収による繰入金については、制限があつてしかるべきものと考えおりますので、負担の公平性の観点からバランスをとってまいりたいところでございます。

委員：減価償却費と企業債償還金のそれぞれの今後の見通しについては。今後も下水道事業の経営に大きな影響を及ぼし、楽観視できないものとの認識で良いか。

事務局：減価償却費および企業債償還金については、今後の建設工事の数によって変動するものでございます。今後管路更新の時期を迎えるにあたって、それに対する費用を想定しなければならないことから、ご指摘の通り楽観視できる状況ではないものでございます。

委員：収益的収支における減価償却費と、資本的収支における企業債償還金の性質的な違いについて説明していただけませんか。

事務局：どちらも費用の平準化という点に関しては同じですが、減価償却費は、収支を平準化して計上するものであります。一方企業債償還金は資金流出の平準化でございます。収益的収支には現金の動かない収入や支出が多分に含まれているため、現金の出入りに着目しているのが企業債償還金でございます。